

災害への備えは大丈夫ですか？

- 災害から『命』を守るために
近年、全国的に豪雨や台風による大規模災害が相次いで発生しており、昨年は全国各地に台風が上陸・接近し、記録的な大雨や暴風を記録するなど大きな被害をもたらしました。

※ 「令和2年7月豪雨」では、線状降水帯が発生、死者65人、行方不明者2人

本県でも、台風の上陸・接近により各地で大雨となり、負傷者や床上・床下浸水などの被害が発生したり、集落が孤立するなど県民生活に大きな影響をもたらしました。

台風の被害だけでなく、大雨をもたらす線状降水帯情報は、災害発生の危険度が急激に高まることもあり、避難する時間的余裕がないこともありえます。

また、これまで災害による被害が少なかった地域でも、予想以上の降雨量により大規模な災害が発生する可能性が考えられることから、常日頃から、食料、生活用品等の準備や避難要領を確認するなど、起こりうる災害に備えることが大切です。

- 予防的避難の重要性
避難で重要なことは、『空振りをおそれないこと』です。
台風や豪雨は、地震と違い、事前にある程度危険性を予測することが可能です。
最新の情報を参考に、危険が迫る前の明るい時間帯に予防的避難を心掛けましょう。



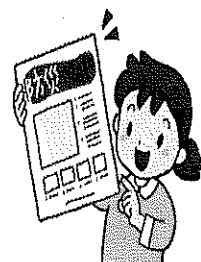
- 垂直避難について
垂直避難とは、水害や土砂災害などの災害発生時、今いる建物や直近の建物の2階以上へ移動する避難方法のことです。
災害が既に発生している時、「別の場所へ避難」と「垂直避難」の災害リスクを比べ、より安全な方法を選択し、自身の安全を確保するようにしましょう。

- 危険な行為
雨風が強いときに、
◆ 田畑の様子を見に行く
◆ 海や川の様子を見に行く
◆ 屋根等の高所で作業をする
などの行為は大変危険です。

絶対にやめましょう！！



- 災害に対する日頃の備えを
◆ 災害イメージネーション ～ 常に災害への備えを自分自身でイメージしておく。
◆ 地域の危険箇所や避難経路の確認 ～ 地域の危険箇所や避難経路を予め把握。
◆ 備蓄食料等の準備 ～ 日頃利用している食料品や生活必需品を多めに購入。
◆ 家族との連絡手段の確認 ～ 災害時に離れた場合の安否確認方法を決める。



広報

うえの

発行

御船警察署

上野駐在所

那須貴年

Tel 284-2044



外国人の不法滞在・不法就労防止にご協力を！

～ 不法滞在や不法就労は身近な問題 ～

● 不法就労・不法滞在の現状

国内では、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、訪日外国人観光客の増加が見込まれます。

近年、偽造した在留カードや偽変造文書を使って、不法滞在しながら就労する事案、技能実習生が失踪して就労する事案など、手口が悪質巧妙化しており、不法就労・不法滞在をめぐる状況は依然として深刻な状況にあります。

● 警察の不法滞在・不法就労防止対策

- ◇ 出入国在留管理庁、税関、海上保安庁等の関係機関と連携した取締り
- ◇ 地域住民に対する情報提供の呼びかけ
- ◇ 沿岸地区及び繁華街地区におけるパトロール活動



● 皆様へのお願い

下記①～③のような情報があれば、警察に通報をお願いします。

- ① 不法滞在者を雇用している企業や店舗がある
- ② 在留カード等の身分証を見せようとしらない外国人がいる
- ③ 近所付き合いや挨拶を全くしない外国人が集団生活をしている

※ 適正に滞在している外国人に対する誹謗中傷は堅くお断りします

「ダメ。ゼッタイ。」

～ 薬物乱用を防止しよう！～

大麻事犯の若年層への乱用拡大

令和4年中の大麻事犯検挙人員49人中、10代20代の若年層の検挙人員は、約半数の24人となっており、依然として高水準で推移しています。

若年層の検挙人員拡大の背景には、一部海外の大麻解禁報道に加え、インターネット上に氾濫する「大麻は中毒にならない。」「大麻はタバコより体にいい。」などの間違った知識や情報が影響していると考えられます。「一度くらいなら」という軽い気持ちで、身体に重大な障害をまねくおそれがありますので、大麻の有害性や依存性など正しい情報を知り、自今の身を守りましょう。

※ 相談は早めに遠慮なく ※

覚醒剤や大麻など、薬物に関する相談は、

匿名通報ダイヤル

<http://www.tokumei24.jp>

警察本部の「覚醒剤相談電話」 (096) 384-4444

又は最寄りの警察署等に御相談ください。

秘密は厳守します。

